

ラドヤード・キプリング

## 8 カインとアベル

アメリカ西部版

カインとアベルは兄弟どうしであった  
(クープレー カーマローン 畜生め)  
兄カインは農業 弟アベルは牧畜業を営んだ  
(クープレー カーマローン コーホー)

カインは川べりで野良仕事 5  
だから日照りでも平っちゃらさ

カインは土手を築き水門を作り 水路をうがち水を引いた  
(コーンのためなら 角など構いやしない)  
ユフラテ川の水を半分引き込んだ  
クソタレコーンを育てるために 10

だがアベルはカラカラの平原に牛を追った  
ダムや豪雨を当てにして行かねばならぬ

三年も干ばつが続いたそのあげく  
井戸も湧水もダムも干上がっちゃった

牝牛の群れがカインの新邸にやってきて 15  
(みんな水飲みたいよー)  
並べた雁首がんどびのすき間に灼熱の陽の光  
「おいらのめんこい雌牛めに水くれよ モー」  
だがカインはただひと言「やだね」

雌牛の群れがカインの豪邸にやってきて 20  
並べた雁首がんどびのすき間に冷たい月の光  
「あたいたち哀れな雌牛にお水ちょうだいよー」  
だがカインはただ一言「やだね」

仔牛<sup>べこらし</sup>の群れがカインの美邸にやってきて  
並べた雁首<sup>がんくび</sup>のすき間に宵の明星がきらめく 25  
「ぼくらにお水ちょうだい 大きく育つよー」  
だがカインはただ一言「やだね」

牡牛の群れはみなを引き連れ帰っていった  
アベルはカインのところへ行き  
「兄貴 後生だ 水売ってくれ 30  
さもないと今年はビフテキ<sup>な</sup>無しだよ」  
カインは答えてひと言「やだね」

「兄貴 水門開けてよ  
ほんの少し水分けてよ」  
カインは答えてひと言「やだね」 35

「おれのダムはがっしり 水路はしっかり  
水は一滴だって漏れたり こぼれたりするもんか  
ちゃんとコーンが育つまではな

水は売らんし 引いてもやらん  
もし水路を壊すなら 法に訴えてやる 40  
やると言ったら おれはやるぞ」

そこでアベルは牛追い棒を振り上げ  
エデン街道の堤防に穴を開けた

アベルは足と手を使い穴をうがち  
ユフラテ川の水を陸<sup>おか</sup>に流した 45

アベルはユフラテ川の水を平原に撒いた  
それで牛たちはまた水が飲めるようになったのだ

カインはアベルの仕業を見ていた  
だがその頃は銃<sup>じゆう</sup>など物騒なものはなかった

カインはヒッコリーの枝で棍棒を作った 50  
そしてベルを呼び止めた

「水は売らなかった 引いてもやらなかった  
それでおまえは法を破った だから訴えてやる

おまえは鍔ガロンハット広帽と拍車をつけて馬を乗り回し  
おれのきゅうり畑を荒らしまわる

55

おまえの特こっとい牛を野菜畑に放してみろ  
そのときや命乞いする羽目になるぞ

それでおまえはお陀仏だ ざまみやがれ  
神様のお慈悲にでもすがれ おれに慈悲を乞うても無駄なこと

そのときアベルは兄やに殺られると直感した  
だがその頃はナイフなど物騒なものはなかった

60

そこでアベルは牛追い棒をかまえて立ち上がった  
しかしカインが先手を食らわし 弟を殺してしまった

牡牛は血の臭いをかぎ狂乱して 走り回った  
赤土の中に角を突き刺し 脚を突っ込んだ  
仔牛はうめき 特こっとい牛はうろうろ歩き廻った  
人類最初の殺人事件を見たからである  
牛の群れはノドの土地へと散っていった  
そしてカインは裁かれた

65

だがカインのその後の苦難を考えると  
神の裁きが公平だったとはどうしても思えない

70

(榊井幹生訳)